



でかけてみよう!
TAMAのミュージアム

1 奥多摩水と緑のふれあい館 (0428-86-2731)
 水源地の役割と自然、奥多摩の歴史・文化を紹介。

開館時間	9:30 ~ 17:00	休館日	水曜日 (祝日の場合は翌日) 12.28 ~ 1.4	入館料	無料
------	--------------	-----	-------------------------------	-----	----

奥多摩の豊かな自然とダムの仕組みや水の大切さなどを紹介し、東京都の水源地である奥多摩町と水道を利用する都市住民とのふれあいの場として、奥多摩町の歴史・文化・郷土芸能・地場産業等の紹介及び展示を映像等で分かりやすく紹介している。
 ●秋の奥多摩ミニコンサート (11.24・25) 公演 出演：都民交響楽団有志 公演：午前・午後 計4回
 【URL】 <http://www.okutama.gr.jp/>

2 檜原村郷土資料館 (042-598-0880)
 数馬の民家や、檜原の歴史・民俗・自然を展示。

開館時間	9:30 ~ 17:00 (12月~3月は 10:00 ~ 16:00)	休館日	火曜日 (祝日の場合は翌日) 年末年始	入館料	無料
------	-----------------------------------------	-----	------------------------	-----	----

当館では、「自然と観光」「歴史と民俗」の二つをテーマに景観や動植物、遺跡発掘時の出土品及び民具や兜式入母屋造りと呼ばれる古民家の模型などが常設されています。
 また、村の祭りを紹介するレーザーディスクや自然と歴史を紹介するDVD放映が常時可能となっています。
 【URL】 http://www.vill.hinohara.tokyo.jp/contents/sisetu/siryoukan/siryoukan_top.htm

3	御岳美術館 (0428-78-8814)				
	明治・大正・昭和にいたる近代日本の美術品を展示。				
開館時間	10:00～16:30 (11月～3月は16:00まで)	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日) 年末年始	入館料	一般500円、高大生400円 小中生300円
<ul style="list-style-type: none"> ●常設展示「日本近代洋画の魁 新宿中村屋の作家たち」 ●企画展示「近代美術の流れ—昭和後期の絵画展」(～2.24) 中川一政、椿貞雄、坂本繁次郎、梅原龍三郎、他 ●倉田三郎記念室「旅の素描 フランスを描く」 ●スケッチの日、開館記念日(11.2・3・4) 当館ご来館の方には、記念品をプレゼント! 					
【URL】 http://www.tamashin.or.jp/mitake.html					

4	青梅市郷土博物館 (0428-23-6859)				
	青梅の自然や歴史、民俗、産業に関する資料を展示。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日) 12.29～1.3	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●特別展「石器製作技術展」(～1.14) 縄文時代の代表的な石器の一つである「打製石斧」について、その製作技術のなかで、両極敲打技法(りょうきょくこうだぎょう)が採用されていることを、実験考古学的手法で明らかにするとともに、この技法の意義や、「打製石斧」の属性について新たな視点で問題を提起します。 ●新収蔵品展(2月～4月) 当館の平成18年度に収蔵したものを展示します。 					
【URL】 http://www.city.ome.tokyo.jp/index.cfm/43,1351,160,193.html					

5	あきる野市五日市郷土館 (042-596-4069)				
	五日市の歴史・民俗・自然。五日市憲法関係資料も。				
開館時間	9:30～16:30	休館日	火、水曜日、祝日(水曜日が祝日の場合は翌日も)、年末年始	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●東京文化財ウィーク 2007 企画事業 東京都指定有形文化財(古文書)「旧多摩郡油平村名主中村家文書」特別展(11.8～19) 旧多摩郡油平村名主中村家文書にみる江戸時代の油平村の様子や土豪の農民中村氏について紹介します。 ●郷土の古文書「入会山争論(2)」(～12.24) 二宮村他六ヶ村と大久野村、深沢村の入会山についての争い文書を紹介 					
【URL】 http://www.city.akiruno.tokyo.jp/index.php?oid=3568&dtype=1000					

6	羽村市郷土博物館 (042-558-2561)				
	羽村の歴史と文化。玉川上水と中里介山に関する資料を展示。				
開館時間	4月～9月は9:00～18:00 10月～3月は9:00～17:00	休館日	月曜日(祝日の場合は開館) 12.29～1.3	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●写真展「はむらの野鳥」(9.16～10.14) 羽村市内動植物所在確認調査会・野鳥班の市民調査員が撮影した野鳥の写真34点を展示します。 ●企画展「昭和の水道拡張と玉川上水」(10.28～12.24) 大正の終りから昭和にかけて行われた水道拡張工事の資料を紹介しながら、多摩川と玉川上水の移り変わりを紹介します。 ●企画展「まゆ玉飾り」(1.5～1.16) 小正月行事の「まゆ玉飾り」と正月飾りを展示する。あわせて体験学習会としてまゆ玉を製作します。 ●ミニ企画展「むかしのくらし」(1.8～1.27) 小学校3年生の学習にあわせて、羽村で昔使われていた道具類を展示します。 ●企画展「ひな人形展」(1.27～3.9) 市民等から寄贈され、収蔵しているひな人形を展示しその変遷をたどります。 					
【URL】 http://www.city.hamura.tokyo.jp/museum/museum.html					

7	八王子市郷土資料館 (042-622-8939)				
	八王子の歴史と民俗。車人形や織物の展示もある。				
開館時間	9:00～17:00(入館は16:30まで)	休館日	月曜日、祝日の翌日。金、土、日曜日が祝日の場合は翌火曜日 12.29～1.3	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> ●特別展「写し絵・車人形・説経節」(10.30～12.2) 故久米井亮江氏のコレクションを中心に、かつて八王子周辺の村のお祭などで上演されていた写し絵・車人形・説経節などの「民俗芸能」の世界を紹介します。 ●特別展「八王子の天然理心流」(2.26～3.30) 天然理心流二代目の近藤三助は戸吹村(現・戸吹町)の人で、その道場には多くの門弟が入門していました。地元に残された資料を中心に、八王子の天然理心流を紹介します。 					
【URL】 http://www.edu.city.hachioji.tokyo.jp/shogai-sports/bunkazai/index.html					

8 集合住宅歴史館 (UR 都市機構都市住宅技術研究所) (042-644-3751)
歴史的に価値の高い集合住宅を移築復元して展示。

開館時間	13:30 ~ 16:30	休館日	土曜日～月曜日、祝日 第1、第3金曜日、年末年始	入館料	無料 ※事前予約制
------	---------------	-----	-----------------------------	-----	--------------

日本住宅公団昭和30年代の団地や同潤会アパートなどを移築復元。実際に住戸の中に入ってご覧いただけます。併設の研究施設も一部見学可能です。
移築復元住宅 「蓮根団地」「多摩平団地」「晴海高層アパート」「同潤会代官山アパート」
※事前予約制 (特別公開は予約不要) 予め電話かホームページで。 【URL】 <http://www.ur-net.go.jp/rd/>

9 福生市郷土資料室 (042-530-1120)
考古・民俗資料から、福生の成り立ちと歩みを探る。

開館時間	10:00 ~ 17:00	休館日	月曜日 (祝日の場合は翌日)、年末年始	入館料	無料
------	---------------	-----	---------------------	-----	----

●企画展示「はかる・測る・量る」(10.13 ~ 12.10) 昭和初期の計量にかかわる民具を展示します。
●企画展示「ミキノクチとアーボ・ヘーボ」(12.15 ~ 2.3) 福生のミキノクチと西多摩の小正月を紹介します。
●企画展示「福生の野鳥(仮称)」(2.9 ~) 福生の野鳥や自然環境を紹介します。
【URL】 <http://www.museum.fussa.tokyo.jp>

10 瑞穂町郷土資料館 (042-568-0634)
瑞穂町の歴史と民俗資料を展示。囲炉裏端の再現も。

開館時間	9:00 ~ 17:00	休館日	月曜日、毎月16日(16日が月曜日の場合は17日)、祝日 12.29 ~ 1.3	入館料	無料
------	--------------	-----	---------------------------------------------	-----	----

●企画展「瑞穂町の指定文化財」(10.27 ~ 11月下旬) 瑞穂町の指定文化財について、みなさんに広く知っていただき、親しみを持っていただけるよう紹介いたします。
●郷土歴史講演会(1月初旬) 瑞穂町の歴史について、トピックを取り上げ講演者が解説します(内容未定)。
【URL】 <http://www.town.mizuho.tokyo.jp/shisetsu/kyoudo-tosyo.html>

11 武蔵村山市立歴史民俗資料館 (042-560-6620)
武蔵村山の歴史・民俗・自然を狭山丘陵と武蔵野台地の開発などを通して紹介。

開館時間	9:00 ~ 17:00	休館日	第1月曜日、第3水曜日(祝日の場合は翌日) 12.28 ~ 1.3	入館料	無料
------	--------------	-----	--------------------------------------	-----	----

●写真展「一武蔵村山の今昔一写真でたどる村山の風景」(9.8 ~ 10.14)
●特別展「村山大島紬—都無形文化財指定40周年記念—」(10.20 ~ 12.9)
●ミニ季節展「恵比須講」(11月中旬予定)
●季節展「お正月飾り」(12.22 ~ 1.27)
●季節展「ひな人形」(2.9 ~ 3.2)
●文化財見学会「村山大島紬の工房を訪ねる」(10.20)
●体験教室「モチツキ(予定)」(冬季予定)
●自然観察会(計画中)
【URL】 <http://www.city.musashimurayama.tokyo.jp/shiryokan.html>

12 立川市歴史民俗資料館 (042-525-0860)
立川の歴史や文化、自然風土を紹介。幸町には茅葺きの古民家園も。

開館時間	9:00 ~ 16:30	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日) 12.28 ~ 1.4	入館料	無料
------	--------------	-----	------------------------------	-----	----

原始～近・現代の立川、自然、くらしと道具に関する資料を紹介する常設展示のほか、下記の展示を予定。
●企画展「立川の文化財」(11.1 ~ 11.30) 「公私日記」「立川村十二景」「柴崎村絵図」など立川市歴史民俗資料館で保管されている文化財を公開。あわせて、東京都指定有形文化財「銅鉦鼓」(東京文化財ウィーク2007公開事業)の公開も。
●企画展「新収藏品展」(3.1 ~ 3.31) 新たに収蔵された資料を紹介。
●ミニ企画展「桃の節句展」(2.9 ~ 3.2)
【URL】 <http://www.city.tachikawa.tokyo.jp/jp/tachikawa-city/rekishi/02.html>

13 日野市郷土資料館 (042-592-0981)
日野の歴史・民俗・自然を体験できる資料館。

開館時間	9:00 ~ 17:00	休館日	月曜日 (祝日の場合は翌日) 12.28 ~ 1.4	入館料	無料
------	--------------	-----	-------------------------------	-----	----

●特別展「幻の真慈悲寺を追う」(9.23 ~ 12.16) 会場は新選組のふるさと歴史館(日野市神明4-16-1)。鎌倉幕府の公式記録「吾妻鏡」にその名が登場する真慈悲寺。近年の調査で京王百草園を中心とする丘陵一帯にその寺域が広がっていたことがわかってきました。昨年からは始まった調査プロジェクトの最新成果を展示します。
●郷土資料館企画展「ふるさと日野の写真展」：前期「なつかしの日野写真展」(9.8 ~ 11.25)、後期「どんど焼き写真展」(12.1 ~ 1.20) 前期は市史編さんで収集した写真を中心に、懐かしい風景や行事、市域の移り変わりや様々な日野の歴史を物語る写真を展示し、後期は市内各所で行われているドンド焼き行事を写真で紹介。
【URL】 <http://www.city.hino.tokyo.jp/museum/>

14 東大和市立郷土博物館 (042-567-4800)
東大和の歴史・民俗、狭山丘陵の自然を紹介。プラネタリウムもある。

開館時間	9:00 ~ 17:00	休館日	月曜日 (祝日の場合は翌日)、 祝日の翌日、12.28 ~ 1.4	入館料	無料 (プラネタリウムは有料)
------	--------------	-----	--------------------------------------	-----	--------------------

●野草スケッチ展「植物画を描く」(10.20 ~ 12.24) ●郷土美術園特別公開 (11.23) ●「多摩の戦跡写真パネル展」(2月) ●收藏資料展 (3 ~ 5月) ●史跡めぐり～小さな文化財見て歩き (10.14) ●星空観察会 (11.17・12.15) ●野草教室(11.4) ●バードウォッチング(12月) ●プラネタリウム投影 // 秋番組「スペースコロニー」(~12.2) / 冬番組「星の王子さま」(12.8 ~ 3.2) / クリスマス特別投影 (12月) ●その他各種講座を随時開催
【URL】 <http://www.city.higashiyamato.lg.jp>

15 東村山ふるさと歴史館 (042-396-3800)
「みち」をテーマに、東村山の歴史を紹介する。

開館時間	9:30 ~ 17:00 (入館は 16:30 まで)	休館日	月曜日、12.27 ~ 1.5 臨時休館 (3.6 ~ 10)	入館料	無料
------	--------------------------------	-----	------------------------------------	-----	----

●特別展「正福寺展—国宝・地藏堂建立 600 周年記念—」(9.29 ~ 12.16)
都内唯一の国宝建造物「正福寺地藏堂」の建立 600 周年を記念して、正福寺の歴史や地藏堂、地藏信仰を紹介し、千体小地藏尊蔵等を公開します。また、新発見の千体地藏図像版木や、地藏堂の部材等を展示します。
●特別展付随事業 講演会
「正福寺と禅宗美術」講師：稲木吉一氏 (女子美術大学教授) (10.6)
「正福寺の建造物」講師：稲葉和也氏 (建築史家) (11.23)
●企画展示「なつかしい暮らしと道具たち」(1.18 ~ 2.28)
小学生の社会科見学「昔さがし」をテーマに、子どもたちになつかしい思いなどを伝える機会として開催しています。
【URL】 <http://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/>

16 くにたち郷土文化館 (042-576-0211)
国立の歴史、ハケの自然などを展示。庭園でコンサートなど。

開館時間	9:00 ~ 17:00 (入館は 16:30 まで)	休館日	第2、第4木曜日 (祝日の場合は翌日) 12.29 ~ 1.3	入館料	無料
------	--------------------------------	-----	------------------------------------	-----	----

●秋季企画展「滝乃川学園～石井亮一・筆子夫妻の軌跡～」(10.6 ~ 12.24) 国立市にある滝乃川学園は日本初の知的障害者福祉施設です。明治時代いち早く知的障害者へ目を向け学園を創設した石井亮一と、彼を支えた筆子の事跡及び学園の歴史を紹介します。
●ミニ企画展「むかしのくらし展 (仮)」(1月上旬～2月下旬)
●「第15回 紙の工芸展」(3.1 ~ 3.30) お雛様をテーマに、ちぎり絵・折り紙など紙を素材とした心とむ作品展です。
【URL】 <http://www.kuzaidan.com/province/index.html>

17 たましん歴史・美術館 (042-574-1360)
多摩地域の作家の作品展示や、地域の歴史資料を公開。

開館時間	10:00 ~ 18:00	休館日	月曜日、祝日 年末年始	入館料	100円
------	---------------	-----	----------------	-----	------

●東洋古陶磁展「日本」の古陶磁 (9.11 ~ 10.21) 【併設】多摩の作家絵画展ギャラリートーク 10.13 (土) 午後2時より
●東洋古陶磁展「中国と朝鮮」の古陶磁 (11.6 ~ 12.9) 【併設】多摩の作家絵画展 ギャラリートーク 12.1 (土) 午後2時より
●たましん收藏作品展 (1.8 ~ 3.16) — 絵画・漆工・陶芸・彫刻・篆刻・浮世絵—
【URL】 <http://www.gws.ne.jp/tama-city/art/tamas.html>

18 パルテノン多摩歴史ミュージアム (042-375-1414)
多摩丘陵の歴史と多摩ニュータウン開発を展示する。

開館時間	10:00～18:00	休館日	不定休(月に2～3日の施設点検日) 12.27～1.3	入館料	無料
------	-------------	-----	-----------------------------	-----	----

●企画展①「チチンパイプイ～多摩のまじない～」(～11.19) まじないを通して多摩の歴史や生活を紹介
●企画展②「標本のチカラ～植物が伝える過去・現在・未来～」(11.22～3.16) 標本庫公開記念展示
●特別展「村医者と医者村～多摩の医療奮闘記～(仮)」(3.20～5.25)・企画展③(学校関連)(3月～5月)
●歴史講座「多摩御陵を歩く」(11月)●連続講演「形成される『食』イメージ」(10～11月・全5回)●多摩くらし体験クラブ(10月、12月、2月)●石仏調査会(12月～)●その他 定点撮影プロジェクト、古文書講座入門コース「近世文書に見る多摩と江戸」、古文書講座解読実践コース「多摩の領主たち」、みんなの植物観察会、植物観察会ステップアップコース等開催中
【URL】 <http://www.parthenon.or.jp/museum/>

19 東京都埋蔵文化財センター (042-373-5296)
都内各地の埋蔵文化財を展示。遺跡庭園「縄文の村」も。

開館時間	9:30～17:00	休館日	12.29～1.3 3.10～14	入館料	無料
------	------------	-----	----------------------	-----	----

●勾玉作り教室 (10.20・1.26)
●耳飾り作り教室 (10.20・1.26)
●縄文食体験 (10.27)
●文化財講座 (11.6・7・8)
●貝輪作り教室 (11.23)
●編布作り教室 (11.23)
●文化財講演会 (12.15・1.16・2.23)
●発掘調査発表会 (3.22)
【URL】 <http://www.tef.or.jp/maibun/>

20 町田市立博物館 (042-726-1531)
考古・民俗から陶磁器・ガラス器等の美術工芸品まで。

開館時間	9:00～16:30	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日)、 展示替え期間中、12/28～1/4	入館料	無料
------	------------	-----	-------------------------------------	-----	----

●大倉集古館所蔵 能面・能装束(前期:10.30～11.25、後期:11.27～12.16) 室町時代の世阿弥が大成したといわれる能は、織豊時代の織田信長、豊臣秀吉による愛好を経て、江戸時代には徳川幕府の式楽として発展し、全国の諸藩にも広がりを見せました。幕府や諸藩の保護の下、能面は、赤鶴や孫次郎らの先達の「写し」が多く制作され、能装束は、織物・染物の技術の進化を反映した、豪華なものが制作されました。このたび展示する(財)大倉文化財団(大倉集古館)所蔵の能面・能装束は、能を取り巻く環境が各所で整った江戸時代中期の作品がコレクションの中心です。
●町田・民俗の世界から 民具と生活 小特集・板碑(1.5～3.2) 明治～昭和前期に使われてきた食住・生産生業関係民具を紹介します。なお小特集とし中世の供養塔婆である板碑を紹介します。
●世界の土器(3.11～5.11)
【URL】 <http://www.city.machida.tokyo.jp/>

21 府中市郷土の森博物館 (042-368-7921)
府中市の歴史・民俗・自然。プラネタリウム、古民家も。

開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日) 12.29～1.3、年末年始	入館料	大人 200円 4歳～中学生 100円
------	------------	-----	---------------------------------	-----	------------------------

●特別展「発掘! 府中の遺跡—発掘速報&縄文時代の清水が丘」(2.9～3.23)
●プラネタリウム番組「月へいこう!～おためし月面生活～」(～12.9)「宮沢賢治～銀河鉄道の夜」(～12.9)「葉っぱのフレディ～生命の星のものがたり～」(12.15～3.9)
●「郷土の森梅まつり」(2.1～3.9) 春の到来を告げる約60種1,100本の梅が咲きそろいます。
【URL】 <http://www.fuchu-cpf.or.jp/museum/index.html>

22 小金井市文化財センター (042-383-1198)
歴史ある建物で小金井の歴史と文化を紹介する。

開館時間	9:00～16:30	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日) 12.29～1.3	入館料	無料
------	------------	-----	----------------------------	-----	----

当館は作家下村湖人が青年団講習所の所長として講習生と語り、小説『次郎物語』第五部の構想を練った浴恩館を改修して資料館としたものです。市内の考古資料・古文書・民具をもとに、小金井市のあゆみや生活について常設展示しています。
●企画展「小金井の女性—その暮らしとあゆみ」(11.3～3.20)
【URL】 <http://www.koganei.ed.jp/07bunkazai/center.html>

23 江戸東京たてもの園 (042-388-3300)
江戸東京の歴史的建造物を移築した野外博物館。

開館時間	9:30～16:30(入園は16:00まで)	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日) 12.28～1.4	入館料	大人400円、中(都外)高生200円、 大学生320円、65才以上の方200円、 小中(都内)無料
------	------------------------	-----	----------------------------	-----	---------------------------------------------------------

●特別展「玉川上水と分水」(~11.25)、「昔のくらし(仮)」(12.8～3.9)
●情景再現行事「体験!発見!職人さん」(11.3・4)、「クリスマスリースづくり」(11.24・25)、「正月飾りづくり」(12.8・9)、「正月の遊びイベント」(1.5・6)、「はらっぱ大会」(2.10・11)、「春先キモノ日和」(.3.22・23)
【URL】 <http://www.tatemonoen.jp/>

24 東京農工大学工学部附属繊維博物館 (042-388-7163)
繊維の歴史や最新の技術を紹介する。

開館時間	10:00～17:00 (入館は16:00まで)	休館日	日・月曜日、祝日、5.31、8.1 ～8.20、12.26～1.10	入館料	一般240円 小～大生120円
------	-----------------------------	-----	---------------------------------------	-----	--------------------

●第69回特別展「糸をつくる」(11.7～11) 文明の進歩に深い関係をもつ繊維材料の発達過程について、「絹」と「人工繊維」の2種に焦点を当てます。有史以前の素材から、現在盛んに研究が行われている新素材について、繊維作成の実演展示を踏まえながらわかりやすく解説します。特別展期間中入場料無料(通常期間中:一般240円、学生120円)
【URL】 <http://www.tuat.ac.jp/~museum/>

25 清瀬市郷土博物館 (042-493-8585)
清瀬の歴史と民俗。伝承スタジオでは体験学習も。

開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日) 12.29～1.3	入館料	無料
------	------------	-----	----------------------------	-----	----

●「第23回清瀬美術家展」(11.10～11.23)
清瀬市内在住・在勤の美術家(絵画・版画・彫刻)の作品を展示します。
【URL】 <http://www.city.kiyose.tokyo.jp/>

26 多摩六都科学館 (042-469-6100)
《緑と生活の調和》を実現する科学・技術を紹介する生涯学習施設。

開館時間	9:30～17:00(入館は16:00まで)	休館日	月曜(祝日の場合は翌日)、祝 日の翌日、12.28～1.3 ※保守点検のための臨時休館日	入館料	大人500円、 小人200円(4歳～高校生)
------	------------------------	-----	----------------------------------------------------	-----	---------------------------

●企画展「第7回 日本万華鏡大賞・多摩展」(10.13～11.4)
●企画展「化石展」(仮)(12.20～'08.12.14)化石から伊豆半島衝突が見えてくる。
●「春の企画展」(詳細未定)(3.22～5.11)
●プラネタリウム 学習番組、一般番組、キッズプログラム、特別番組(音楽、クイズ、クリスマス等)多様なプログラムを投影。
●科学教室 自由開放型の教室、科学あそび、科学実験教室、科学工作教室、観察教室、ボランティア企画運営実施による教室「たまるく☆サイエンスラボ」などを開催。
【URL】 <http://www.tamarokuto.or.jp>

27 調布市郷土博物館 (042-481-7656)
原始古代から近代までの調布の歴史をたどる。

開館時間	9:00～16:00	休館日	月曜日、祝日 12.29～1.3	入館料	無料
------	------------	-----	---------------------	-----	----

●「野川が映した三万年～旧石器時代のくらしを探る」(10.20～12.9) いまから3万年前、氷河時代の気候と多摩川の影響によって「ハケ」地形ができ、崖からの湧水を集めて野川が流れ出しました。それから2万年もの間、川のほとりでは旧石器時代の人びとのくらしが続いてきました。その悠久の歴史は、いまも私たちの足もとの地中に眠っています。遺跡から掘り出された石器を手がかりに、野川の水面が映し続けた遠い過去のできごとを探ります。
●郷土学習展(1月～3月)市内の小中学校の団体見学が集中する3学期に開催している展示です。シルバー世代には懐かしい資料を展示し、子どもたちが郷土に生きた人びとの暮らしを学習するのに役立つ内容です。
【URL】 <http://www.city.chofu.tokyo.jp/>

三多摩公立博物館協議会加盟館一覽

No.	館名	住所	電話	交通
1	奥多摩水と緑のふれあい館	〒198-0223 東京都西多摩郡奥多摩町原 5	0428-86-2731	JR 青梅線「奥多摩駅」から小河内方面行きバス「奥多摩湖」下車
2	檜原村郷土資料館	〒190-0200 東京都西多摩郡檜原村 3221	042-598-0880	JR 五日市線「武蔵五日市駅」から小岩行きか鎌倉行きバス「資料館前」下車
3	御岳美術館	〒198-0173 東京都青梅市御岳本町 1-1	0428-78-8814	JR 青梅線「御嶽駅」下車徒歩 20 分
4	青梅市郷土博物館	〒198-0053 東京都青梅市駒木町 1-684	0428-23-6859	JR 青梅線「青梅駅」下車徒歩 12 分
5	あきる野市五日市郷土館	〒190-0164 東京都あきる野市五日市 920	042-596-4069	JR 五日市線「武蔵五日市駅」下車徒歩 17 分
6	羽村市郷土博物館	〒205-0012 東京都羽村市市羽 741	042-558-2561	JR 青梅線「羽村駅」下車徒歩 20 分
7	八王子市郷土資料館	〒192-0902 東京都八王子市上野町 33	042-622-8939	京王線「京王八王子駅」または JR 中央線「八王子駅」からバス「市民会館」下車
8	集合住宅歴史館	〒192-0032 東京都八王子市石川町 2683-3	042-644-3751	① JR 八高線「北八王子駅」下車徒歩 10 分② JR 八王子駅より大和田、東海大学病院經由 宇津木台行「ケンウッド前」下車徒歩 5 分
9	福生市郷土資料室	〒197-0003 東京都福生市熊川 850-1	042-530-1120	JR 青梅線「牛浜駅」東口下車徒歩 7 分
10	瑞穂町郷土資料館	〒190-1211 東京都西多摩郡瑞穂町石畑 1962	042-568-0634	JR 八高線「箱根ヶ崎駅」下車徒歩 18 分
11	武蔵村山市立歴史民俗資料館	〒208-0004 東京都武蔵村山市本町 5-21-1	042-560-6620	多摩モノレール「上北台駅」から武蔵村山市内循環バス三ツ木地区会館行き「横田」下車徒歩 10 分
12	立川市歴史民俗資料館	〒190-0013 東京都立川市富士見町 3-12-34	042-525-0860	JR 中央線「立川駅」南口から立川駅北口行きバス「農業試験場前」下車徒歩 5 分
13	日野市郷土資料館	〒191-0042 東京都日野市程久保 550	042-592-0981	①多摩モノレール・京王線「高幡不動駅」から百草団地方面バス「高幡台団地」下車徒歩 5 分②モノレール「程久保」下車徒歩 7 分
14	東大和市立郷土博物館	〒207-0031 東京都東大和市奈良橋 1-260-2	042-567-4800	①多摩モノレール「上北台駅」からちよこバス外回り「郷土博物館入口」下車徒歩 2 分②西武拝島線「東大和市」からダイヤモンドシティ行きバス「八幡神社」下車徒歩 2 分
15	東村山ふるさと歴史館	〒189-0021 東京都東村山市諏訪町 1-6-3	042-396-3800	西武新宿・国分寺線「東村山駅」西口下車徒歩 8 分
16	くにたち郷土文化館	〒186-0011 東京都国立市谷保 6231	042-576-0211	JR 南武線「矢川駅」下車徒歩 8 分
17	たましん歴史・美術館	〒186-0004 東京都国立市中 1-9-52	042-574-1360	JR 中央線「国立駅」南口前
18	パルテノン多摩 歴史ミュージアム	〒206-0033 東京都多摩市落合 2-35	042-375-1414	京王相模原線・小田急多摩線・多摩モノレール「多摩センター駅」下車徒歩 5 分
19	東京都埋蔵文化財センター	〒206-0033 東京都多摩市落合 1-14-2	042-373-5296	京王相模原線・小田急多摩線・多摩モノレール「多摩センター駅」下車徒歩 5 分
20	町田市立博物館	〒194-0032 東京都町田市本町田 3562	042-726-1531	小田急線・JR 横浜線「町田駅」から藤の台団地行きバス「市立博物館前」下車
21	府中市郷土の森博物館	〒183-0026 東京都府中市南町 6-32	042-368-7921	京王線・JR 南武線「分倍河原駅」から健康センター行きバス「郷土の森」下車
22	小金井市文化財センター	〒184-0003 東京都小金井市緑町 3-2-37	042-383-1198	JR 中央線「武蔵小金井駅」下車徒歩
23	江戸東京たてもの園	〒184-0005 東京都小金井市桜町 3-7-1	042-388-3300	JR 中央線「武蔵小金井駅」北口からバス 7 分「小金井公園西口」下車
24	東京農工大学工学部附属 繊維博物館	〒184-0012 東京都小金井市中町 2-24-6	042-388-7163	JR 中央線「東小金井駅」南口下車徒歩 9 分
25	清瀬市郷土博物館	〒204-0013 東京都清瀬市上清戸 2-6-41	042-493-8585	西武池袋線「清瀬駅」北口下車徒歩 10 分
26	多摩六都科学館	〒188-0014 東京都西東京市芝久保町 5-10-64	042-469-6100	①西武新宿線「花小金井駅」北口下車徒歩 18 分②西武新宿線「田無駅」北口よりコミュニティバス（はなバス）多摩六都科学館行き
27	調布市郷土博物館	〒182-0026 東京都調布市小島町 3-26-2	042-481-7656	京王相模原線「京王多摩川駅」下車徒歩 5 分

